जापानी विभाग | Deptt. of Japanese
विश्वभारती Visva-Bharati
भाषाभवन / Bhasha-Bhavana

B.A. (Honours)(NEP) Examination, 2025
Semester-V
Subject: Japanese
Paper: JPM 11 [Advanced Japanese - I (Text & Grammar - I)]

Time: 3 Hours **Full Marks: 80**

Questions are of the value as indicated in the margin.

問題 I　次の文型・表現で文を作りなさい。 **2×10＝20**

㋐そういった＋名詞　㋑～にしても　㋒～における　㋓その一方で
㋔～ように聞こえる　㋕～を問わず　㋖～こそ　㋗いつまでも
㋘手を引く　㋙果たして

問題 II　次の平仮名を漢字にしなさい。 **1×10＝10**

㋐ みこん　㋑ かち　㋒ どうきょ　㋓ にそく　㋔ はんしん
㋕ たいらな　㋖ めんどう　㋗ きぼ　㋘ おせん　㋙ かねん

次の漢字を平仮名で書きなさい。 **1×10＝10**

㋐ 輸入　㋑ 悪者　㋒ 手軽　㋓ 何気ない　㋔ 土壌
㋕ 小物入れ　㋖ 焼却　㋗ 用途　㋘ 頭文字　㋙ 空き箱

問題 III　次の［　　］の中から適当な言葉を選んで＿＿＿＿に入れなさい。必要な場合は形を変えなさい。 **1.5×10=15**

余り　明らかな　着実な　かかわる 処理する　ますます　こだわる　一見　見通し　とりあえず

㋐ S 先生は＿＿＿＿＿＿怖そうだが、実際に話してみると案外優しかった。
㋑ やるべきことはたくさんありましたが、＿＿＿＿＿＿大事なものだけを早めにやっといた。
㋒ 日本学科に入ってからすでに３年＿＿＿＿＿＿になる。
㋓ 昔、ひどい目にあったことがあるから、２度とそんなわずらわしいことに＿＿＿＿＿＿。
㋔ 彼のように、いつもちっちゃなことにも＿＿＿＿＿＿と作業が全然進まないよ。
㋕ 試合後のインタビューでの話し方を見て、＿＿＿＿＿＿このクリケット選手が好きになった。
㋖ いろいろ工夫しているが、＿＿＿＿＿＿があまり良くなくて成功はまだまだ手につかない。
㋗ 誰が見ても彼の主張が間違っていることが＿＿＿＿＿＿だが、なぜか彼だけに気づいていない。
㋘ こんな大量のデータをコンピューターで＿＿＿＿＿＿と、なかなか経営しにくい。
㋙ 毎日毎日努力していて、少しずつだが、＿＿＿＿＿＿実力がついてきている。

जापानी विभाग / Deptt. of Japanese
विश्वभारती
Visva-Bharati
भाषाभवन / Bhasha-Bhavana

問題 IV　下記の文章を読んで、次の質問に答えなさい。 **15**

去年の今ごろは、幼なじみのかおりと会って話していると「相変わらずね。美恵子も成長しなくちゃ」とよく言われた。しょっちゅう会社の上司と衝突して「あんな石頭の下ではもう働けないわ。私のような若い世代の考え方が通じるはずがないんだから」と愚痴をこぼしていたからだ。

上司から一週間東京に出張してくれと言われたのも一年くらい前のことだった。あの石頭から一週間だけでも離れられると思うとうれしくて、元気良く「行って参ります」と返事をした。①＿＿＿＿＿、初日に出張先の現地スタッフと食事を終えた時、これからの一週間のことを思うと憂うつになった。彼女とは仕事の関係で、お昼ご飯を一緒に食べるのだが、その時に彼女が何にでもケチャップをかけることに気がついた。㋐つけるのではなく、かけるのだ。彼女にしてみれば、これほどおいしい食べ方はないと思っているのだろうが、実際に目の前でやられると、生理的に受け付けない。彼女が自分のケチャップを鞄の中から取り出して、ぎゅっと絞るたびに、㋑私の顔も胃もぎゅっとなるのである。②＿＿＿＿＿、仕事中も彼女の顔を見るたびに、あのケチャップの海におぼれていたおかずが頭に浮かんできてしようがなかった。

二度と彼女とは仕事はしたくないと思いながら、こちらに戻ってきた。③＿＿＿＿＿かおりと会ってその話をした。「へえ、そうなの」と興味深そうに聞いていたが、私が話し終わると、「食べ物と言えば、一年前のりこん騒動を思い出すわね」と言った。

質問

1. ①～③の＿＿＿＿＿に適当な言葉を入れなさい。(2X3=6)
2. ㋐と㋑の下線の表現はそれぞれどんな意味ですか。(2X2=4)
3. それぞれの段落では何について述べているか簡単に書きなさい。(3)
4. 上の文章のタイトルとしてあげられるものを一つ書きなさい。(2)

問題 V　次の文章を英訳しなさい。 **10**

彼らはその年のうちに足を交互に出して歩かせることに成功したが、それは人間の歩き方にはほど遠いものだった。そこで、研究者たちは、歩く仕組みを理解するために、動物園で動物の動きを観察したり、自分の足に測定器具を取り付け、データを集めたりした。しかし、結果が出ないまま３年が過ぎた。歩かせろといっても、まだ動作が不安で、平らなところだけだった。かはんしんだけで歩行らしい歩行ができるようになったのが９３年。じょうはんしんを付けて安定した歩行とより人間らしい高度な動きができるように改良を重ねた。

❀❀❀

जापानी विभाग / Deptt. of Japanese
विश्वभारती Visva-Bharati
भाषाभवन / Bhasha-Bhavana

B.A (Honours) Examination, 2025
Semester V
Japanese
Paper – JPM12
(Advanced Japanese – II (Text & Grammar)

Time- Three Hours **Full Marks- 80**

Questions are of value as indicated in the margin.

問題 I　以下の漢字をひらがなにしなさい。 **1 x 20=20**

1．知識　2. 戦争　3. 出身　4. 祖母　5. 援助　6. 偶然　7. 独立

8. 若者　9. 公社　10. 老人

以下のをひらがなを漢字にしなさい。

11. じょうほう　12. けいけん　13. うむ　14. しゅうきょう　15. かんり

16. ほうほう　17. こじん　18. たにん　19.めいぼ　20.ねんれい

問題 II　下記のものを使って文を作りなさい。 **2.5 x 10＝25**

1. ～やら～やら　2. ～から～にかけて　3. ～まま　4. ～たものだ
5. ～ように思う　6. いくら～ても　7. ～と同時に　8. ～ばそれだけで
9. ～つもり　10. ～させられる

問題 III　以下の文を完成しなさい。 **2 x 8＝16**

1. たとえみんなでそうじをしても、あまり＿＿＿＿＿＿＿＿とは思えません。
2. 私の国に山はたくさんあるのですが、＿＿＿＿ほど＿＿＿＿はないでしょう。
3. 私は今度の休みに＿＿＿＿＿＿ことにしました。
4. ＿＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿＿＿ようで元気になります。
5. 何があろうと決して＿＿＿＿＿＿。
6. ちょっと太ってきたので、できるだけ＿＿＿＿＿＿ようにしています。
7. A：ほら、今晩はカレーよ。おいしそうでしょ。
   B：ええ、またカレー。＿＿＿＿＿＿なんて＿＿＿＿＿＿。
8. ＿＿＿＿＿＿のが、うれしくてたまりません。

問題 IV 以下のキーワドから一つ選んで簡単に説明しなさい。 **4**

1. パチンコ道　2. 外見　3. 女の色

P.T.O

問題 V　下記の日本語を英語にしなさい。　5 x 2＝10

1. 陽一とアンさんから結婚式の招待状が来た。二人とは、学生時代から学部もクラブもずっと同じだったので、家族の誰かが結婚するようで、とてもうれしい。招待状も、昔からの決まった言葉をたくさん並べたものではなく、二人の気持ちを伝える大変いいもので、二人がニコニコしながら「来てくださいね」と言っているようだっだ。

2. 世界中を旅している人に、どうしたらその土地の人と知り合いになれるのかと聞いてみると、「片言でもいいから、そこの人たちの言葉を話し、一緒におなか一杯食べ、飲むことだ」と言う答えが返ってきた。世界は広いのだから、トマトの皮をむく人もむかない人もいる。皮がついているかいないかは問題ではなく、それよりも、同じテーブルを囲んで、飲み、食べ、一緒に笑うことが大切だ。

問題 VI　次の文章を読んで、以下の質問に答えなさい。　5

この電車を利用していて、いつも気にかかることがある。「この電車は、すべて指定席です。特急券をお持ちでない方はお乗りにならないでください」と何度も繰り返されるアナウンスである。敬語の使い方が間違っているのでも、言い方が失礼なのでもない。文法も正しいし、声も優しい。けれども私には、「乗せてあげるから券を買ってきなさい」と命令されているような感じがする。「お乗りになる前に特急券をお求めください」とでも言えないだろうかと思ってしまう。

ア）特急電車に乗ると、何が気にかかるのですか。　2

イ）電車のアナウンスはどんな感じがすると言っていますか。　1

ウ）特急電車のアナウンスをどのようにした方が良いと言ってますか。　2

＊＊＊＊＊

जापानी विभाग / Dept. of Japanese
विश्वभारती
Visva-Bharati
भाषा-भवन / Bhasha-Bhavana

B.A. (Honours) Examination, 2025
Semester-V
Japanese
Paper JPM-13
[Translation - II (English-Japanese & Japanese-English)]

Time: Three Hours **Full Marks: 80**

Questions are of the value as indicated in the margin.

問題 I. 次の和文章(A)(B)(C)を英文章に訳し、英文章(D)(E)を和文章に訳しなさい。 **16X5=80**

(A)

雨がたくさん降ると、「土砂災害」で山や崖などが崩れることがあって、危険です。土砂災害の前には、山から変な音が聞こえたり、小さい石が落ちてきたりすることがあります。山に割れ目ができたり、突然、土から水が出てきたりすることもあります。このようなときは、すぐに安全な場所に避難しましょう。逃げることができない場合は、丈夫な建物の２階以上で、山から遠い部屋にいてください。

雨がたくさん降って災害が起こりそうな場合、気象庁は「大雨注意報」を出します。もっと大きな災害になりそうな場合は「大雨警報」を出します。もっと雨がひどくなりそうな場合は「大雨特別警報」を出します。

この情報はテレビやインターネットなどで知ることができます。避難の情報が出ても、暗くて危険なときや、道が川のようになって外に出ることが難しいときは、建物の２階以上にいたほうが安全なことがあります。

「ハザードマップ」は、雨がたくさん降ったときに危険な場所や避難する場所などがかいてある地図です。県や市などのウェブサイトでも見ることができます。家や会社の周りが安全かどうか調べておきましょう。

(B)

自分の今までやってきた食べ方、料理のし方と違えば、少しおかしいと思うのは当たり前のことだが、その理由をよく考えてみると、ただ慣れていないだけということが多い。最初は変だと思っても口にしてみると、思っていたよりおいしかったということもよくある。

世界中を旅している人に、どうしたらその土地の人と知り合いになれるのかと聞いてみると、「片言でもいいから、そこの人たちの言葉を話し、一緒におなか一杯食べ、飲むことだ」という答えが返ってきた。世界は広いのだから、トマトの皮をむく人もむかない人もいる。皮がついているかいないかは問題ではなく、それよりも、同じテーブルを囲んで、飲み、食べ、一緒に笑うことが大切だ。そうすれば、特別な努力をしなくても、いい友達を作ることができるということなのだろう。

(C)

日本はアジア大陸の東にある島国である。北海道、本州、四国、九州の四つの島と、四千ほどの小さな島がある。このような島の全体は日本列島と呼ばれている。この日本列

島は、北東から南西にかけて弓のような形に並んでいる。北の端から南の端までの長さはだいたい三千キロぐらいある。
地図を見ればわかるように、日本は山地が多い。ほとんど火山活動でできたものである。海岸のそばまで山地が続いている所が多く、あまり大きな平野はない。人が生活できるような平野の部分は、全体の三割程度であり、そこに大部分の人が集まって生活している。
本州の中央には高い山が並んでいる。二千メートル以上の山も多い。ここから流れている川は短く、流れも急である。例えば、日本で一番長い信濃川(しなのがわ)でも三百七十キロ程度である。世界一長いアフリカのナイル川と比べると、十八分の一しかない。
百年ほど前に来日したオランダの技術者は、初めて日本の川を見た時、驚いて「これは川ではない。滝(たき)だ。」と言ったそうである。この人は、流れの遅い大陸の川を見慣れていたので、日本の川がちょうど滝のように見えたのだろう。

(D)

Bobby made a big red, white and blue kite. When finished,he smiled at it.
"You are beautiful and I will call you Sundari," he said.
One day, Bobby took Sundari to the fair.
The band was playing and everyone was smiling.
A merry-go-round was playing a happy little tune. It was carrying lots of boys and girls round and round on its wooden animals. Bobby looked for an open space where he could run and fly his kite.
Out in the grass ran Bobby, holding up his kite as high as he could.
Puff! The wind came along. Sundari started to fly up! But she could not go very high. A little dog was holding on to her long tail. It was in his mouth.
Bobby shooed the dog away. "We'll try again," Bobby said.
This time Sundari leaped up in the air. She tugged hard. Oh, how she wanted Bobby to let go of her string!
She gave a big tug. Bobby had to let her go.
"Wheee!" cried Sundari. "Now I can fly as high as I please!"And away she went. She flew up, up, up in the air.

(E)

In Japan, with its high food processing and hygiene management standards, the number of certified space food products has climbed to 56 as of March 2025, thanks to the participation of food manufacturers from across the country. One of these is canned mackerel developed over 14 years by high school students in Fukui Prefecture.
The established Japanese food maker that invented the world's first instant noodles in 1958 developed to be easy to eat even in a space environment, with a thick broth and chunky noodles that keep their shape even when rehydrated in hot water. Fried chicken, a Japanese convenience store standard, is freeze-dried and transformed into space food that boasts the same delicious crispiness.
The Japanese space food menu is quite diverse, with everything from main dishes to sides, sweet treats and beverages that reflect traditional Japanese food culture. Curry rice, Onigiri rice balls, Yakisoba, and stewed hamburger steak offers the comforting flavors of Japanese home cooking. Providing a moment of relaxing comfort in the depths of space far above the earth, healthy and delicious Japanese space food is very popular with astronauts from other countries, as well.

＊＊＊＊＊